

科目名	精神看護学特論Ⅱ Topic in Psychiatric Nursing Ⅱ
授業形態	講義(20%)・演習(80%)
標準履修年次	1年次
実施学期・曜時限等	秋学期 ABC 応談
単位数	2単位
担当教員名	森 千鶴 Mori Chizuru 菅谷智一 Sugaya Tomokazu
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	4B棟502室 オフィスアワーは特に定めませんが、事前連絡をしてから訪問すること mori@md.tsukuba.ac.jp sugaya@mdtsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1)精神科薬物療法を受けている対象者を理解し、援助方法を説明できる (2)精神療法に関する諸理論と方法について最新の研究成果を系統的に調べ、論理的にまとめて発表できる (3)上記(2)の内容について、科学的な視点から論理的に討議することができる (4)精神看護専門看護師として精神科薬物療法や精神療法を受けている慢性期にある精神疾患をもつ対象者を理解し、高度な実践を行う上での課題、今後のあり方について述べる事ができる
他の授業科目との関連	精神看護専門看護師養成課程 必修科目
履修条件	精神看護専門看護師養成課程履修希望者は必修 精神看護学分野で看護科学特別研究を受講する者は履修することができる
授業概要	精神看護の専門看護師として、ケアとキュアを融合した高度な実践に必要な精神科薬物療法と精神療法に関する理論を理解し、事例への適用技法を習得する
キーワード	精神看護実践、薬物療法、精神療法
授業計画	プリントを配布し、それに沿って進める。演習の時間を設ける。 1(精神科薬物療法を受けている対象者の理解と援助方法) (森 千鶴) 2(慢性期にある精神疾患をもつ対象者の薬物療法) (森 千鶴) 3(精神療法を受けている対象者の理解と援助方法) (菅谷智一) 4(慢性期にある精神疾患をもつ対象者の精神療法の理解) (菅谷智一) 5(認知行動療法を受けている対象者の理解と援助方法) (森 千鶴) 6(慢性期にある精神疾患を持つ対象者が受けている認知行動療法の理解) (森 千鶴) 7(リラクゼーション法、自律訓練法、漸進的筋弛緩法の理解と援助方法) (菅谷智一) 8(慢性期にある精神疾患を持つ対象者が受けているリラクゼーション法、自律訓練法、漸進的筋弛緩法の理解) (菅谷智一) 9(暴力リスクの高い対象者への援助技法) (森 千鶴) 10(慢性期にある精神疾患をもつ対象者が受けている薬物療法、精神療法の理解) (森 千鶴)
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	講義(20%)と演習(80%)を併用する 課題学習を行う。課題は概説の時に説明する

成績評価方法	<p>2/3以上の出席を以て単位取得の要件とする          課題学習に対するプレゼンテーションと資料を以て評価をする          評価基準：          A+ 対象者になされている治療を踏まえ、慢性期にある精神疾患をもつ対象者に対して具体的な援助方法を適用する根拠を述べることができる          A 対象者になされている治療をふまえ、慢性期にある精神疾患をもつ対象者に対して具体的な援助方法を述べることができる          B 対象者になされている治療を理解し、慢性期にある精神疾患をもつ対象者に対して援助方法を述べることができる          C 慢性期にある精神疾患をもつ対象者になされている治療の意味、援助方法を説明できる          D 対象者になされている治療の意味、必要な援助について説明できない</p>
教材・参考文献・配布資料等	
その他(受講生にのぞむことや受講上の注意点等)	<p>エビデンスの高い論文を読み、論理的にまとめた上でプレゼンテーションを行う          自ら積極的に学び、科学的、論理的な視点を持って討議に参加すること</p>